

ささりんどう



学校教育目標

感動し 共に喜びあえる児童の育成

児童数
男子 154名
女子 150名
合計 304名

校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校だより 令和4年12月1日



創立150周年の節目を迎えて

～「今、ここ」を大事にしましょう～

校長 齋地 満

11月12日（土）に創立150周年を祝う会を行いました。記念品として定規とバッジ、クリアファイル、夢がたくさん詰まった記念誌が配られました。節目となる年に箕田小学校に通っていた記念ですから、大切にしてほしいと思います。また、保護者の皆様には、live 配信を試みましたが、一部で音声が届いておりませんでした。子ども達の発表を式の終了直後に改めて配信しましたが、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。なお、祝う会をもって一連の記念行事は終わりとなります。実行委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に厚く感謝を申し上げます。

式の挨拶で話しましたが、過去・現在・未来は繋がっています。過去を変えることはできませんが過去から学ぶことはできます。一方、未来から学ぶことはできませんが、未来を変えることはできます。その過去と未来を繋ぐのが現在です。だからこそ、子ども達には「今、ここ」を大事にして、やるべきことをコツコツとしっかり行い、自信と自己肯定感を育んでほしいと切に願っています。

さて、先日持久走大会が無事に行われました。天候にも恵まれ、保護者の方々にも見ていただくことができました。持久走大会の目的は、自主マラソンも含めた体力の向上です。それは、コロナ禍にとって重要な意味があります。心肺機能を高め、体力をつけることで一人一人が健康を維持できます。このことは、医療機関の最前線で働く方々の負担軽減にもつながります。そこで、子ども達には「持久走大会前に校庭100周を達成しよう」と話し、校長講話でも呼びかけました。一ヵ月ほどの期間もあるので、毎日走る目標を立てて取り組めば、無理なく進められます。今年は、マラソンタイムも週2回ありました。しかしながら、達成率はほぼ半数でした。一昨年は97%、昨年は87%でした。未来の懸け橋となる子ども達が颯爽と抜いて行ってくれることを期待して、私も100周を走りましたが、歩いたりおしゃべりをしながら走ったりと、私に抜かれていく児童がほとんどでした。私は、これを危険なサインと感じました。本気でがんばろうとする雰囲気や人間関係が構築できていないと考えたからです。

100周を達成し、自分のペースとフォームを身に付けた児童の走りには感動します。だからこそ、達成した児童が一番多かった1年生の持久走はとても熱気があり、自信と自己肯定感を高めることができましたと思います。職員にも伝えましたが、持久走大会は自主マラソンの努力や成果を発揮し、互いのがんばりを認め合える場になってほしいと思います。そして、参観する保護者の方々にも子ども達全員に大きく温かい拍手を贈っていただけると幸いです。熱く語ってしまいましたが、箕田小の子ども達には、伸びしろがあります。「今、ここ」を大事にして、やるべきことをコツコツとしっかり行えば、一人一人の持っている力が引き出され、必ず学習も運動もより大きく伸びます。

間もなく年末、年始を迎えます。新型コロナウイルス感染拡大の兆しも見えますので、引き続き体調管理と感染防止に留意していただき、よい年をお迎えください。

～ お詫び ～

上履きが値上がりするとの情報を受け、PTA役員の方などが来校した際に、別の上履きへの変更について話を伺いましたが、業者に再確認したところ値上げの時期がはっきりとしていないことが判明しました。また、現在使用している上履きに特段問題もないことから、引き続き同じ物を使用します。

おめでとう箕田小学校！「創立150周年を祝う会」

11月12日（土）に、150周年記念事業の最大のイベントである、「創立150周年を祝う会」を開催しました。児童・教職員・実行委員等は体育館で、保護者はリモートで参加しました。

第1部はお祝い集会として、計画委員会によるクイズ、クラブや合唱の発表、記念動画の放映等を行いました。どの発表も練習の成果が十分に発揮されていて、会場全体が盛り上がりました。

第2部は、和太鼓ステージとして、川越ふじ太鼓の皆様による和太鼓の演奏を聴くとともに、6年生が体験をさせていただきました。体に響く大きな音に児童は驚き、迫力のある演奏にどの子もひきつけられていました。

第3部は、記念講演会として、声優でこのす観光大使である川田妙子様にご講演をいただきました。「夢ってなんだろう？夢の見つけ方」という演題で、ご自身の体験をもとに夢を持つことの大切さをお話いただきました。様々なキャラクターの声も披露していただき、児童は大興奮でした。

箕田小の150周年を、みんなで祝うことができたひと時でした。これからも、箕田っ子一人一人が自分の夢をもち、「未来へのかけ橋」になってほしいと思います。創立150周年事業実行委員の皆様を始め、本会開催に当たりご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。



第1部 お祝い集会



第2部 和太鼓ステージ



第3部 記念講演会

午後には、平成14年度に在籍していた卒業生・当時の教職員・PTA執行部の方々が一堂に会し、「130周年記念事業タイムカプセル開封のセレモニー」も無事執り行われました。卒業生の方々はタイムカプセルにしまった20年前の自分からのメッセージを受け取るとともに、久しぶりに会う恩師や同級生と、懐かしさに浸りながら思い出話を花を咲かせていました。

なお、まだメッセージを受け取っていない方は、令和5年3月末まで箕田小学校で保管しますので、ご連絡の上ご来校いただければお渡しいたします。（箕田小学校：048-596-0318）

お知らせ ▲

学校評価アンケートにご協力をお願いします

学校評価アンケートについてのお知らせを12月1日に配付しました。今年度の保護者アンケートは連絡メールアプリ「eメッセージ」のアンケート機能を利用して実施いたします。連絡メールにアンケートが届きましたら、お子様ごとに回答をお願いいたします。保護者の皆様からの貴重な意見を参考にさせていただきながら、今後の教育活動や指導の改善案を校内で検討し、来年度の計画に反映させてまいります。学校評価の詳しい結果については、3月にお知らせいたします。

緊急時の児童の引き取りについての連絡フォーム

鴻巣市内小・中学校では、震度5弱以上の地震が発生した際には、児童の引き渡しを実施することになっております。保護者の方が地震発生から1時間以内にどうしてもお子様を引き取りに来ることができない場合の連絡ツールとして、箕田小学校のホームページ内に、「緊急時の児童の引き取りについての連絡フォーム」を開設しました。緊急時、必要事項をこのフォームに入力していただくことで、引き取りに来られる方の名前、おおよその到着時刻、伝言等を学校に連絡することができます。万が一の場合に備え、本フォームについてご承知おきください。

（右のQRコードからもアクセスできます。）



お詫び 創立150周年記念誌「ささりんどう」の表記に誤りがありました。P4「沿革」の平成24年の「時を守る」は、「礼を正す」の誤りです。この場をお借りして訂正させていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。